

ニッポンス専修

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
101-8425 代田区 3-8
03-3265-5819(直)

主なニュース

- 2 新学部長に聞く・浅見和彦経済学部長、金子洋之文学部長……
- 3 寄稿「学生が自ら学びあえる学習コミュニティをデザインする」
- 4 望月俊男ネットワーク情報学部講師……
- 5 育友会支部懇談会、韓国育友会会員との懇談会……
- 6 創立記念日特集「創立130周年記念映画
「学校をつくろう」フォト集/創立者の横顔……」
- 7 石巻専修大学 日商簿記1級に合格/テニスのインカレで活躍……
- 8 北海道短大 イワオヌプリでビオトープ造成管理実習……
- 9

テレホンサービス
(お知らせ・緊急連絡)
0180-994-994

本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

専修大学ホームカミングデー2010のご案内
生田キャンパスで11月6日(土)、「ホームカミングデー2010」を開催します。すべての卒業生にご参加いただけますが、今年の特別招待対象卒業生(昭和25年、35年、45年、55年、平成2年、12年)の皆さんには、記念品を差し上げます。10号館エスカレーター前で9時50分からオープニングセレモニー、同4階レストランで12時30分から歓迎セレモニー&交流会を行います。詳細は次号及びホームページに掲載します。

学長就任3期目に際して

日高 義博



9月1日から3期目がスタートした日高義博学長は、「10年後を見据え、大学改革のスピードをゆるめず、リーダーシップを発揮したい」と抱負を語っている。

6月に学長改選手続きが行われ、9月1日付で学長に就任いたしました。学長職としては3期目になります。この3年間は専修大学にとって10年後の姿を決する正念場であり、これまでの大学改革のスピードを失うことなく、リーダーシップを発揮し、大学の存続の基盤をより強固にするよう尽力したいと思います。

10年後を見据え、スピードある大学改革を

専修大学は、昨年9月に創立130年を迎えました。諸々の創立130年記念事業が展開されましたが、いづれも実り多い成果を得ることができました。大学改革の責務を負っている第5世代の私たちが、創立150年までに何を残しうるかを考えなければなりません。18歳人口の激減に

今後、7、8年はフラットになりますが、その後は再び激減していきます。10年後の志願者数および入学定員数を見極めた上で、この3、4年のうちに大学の人的・物的基盤を整備し、教育力・研究力のある大学として存続するために基盤を強化しておかなければなりません。大学の総合力という点から、私立大学10位以内に入ることを目標に掲げたいと思います。専修大学の底力からすると、教育の現場に活力が漲っているかぎり、目標達成はそれほど難しいことではありません。大学改革を推進して

の確保とゾーニングの設定に基ついたキャンパス構想を描く必要があります。神田キャンパスについては、構想を早めに取り上げて、建て直し計画の具体的な検討に入るべきだと考えています。都心の神田において、魅力的で機能的なキャンパスが出現することは、戦略上も重要であり、早めの実現に向けて尽力する所存です。なお、懸案であります生田キャンパスの国際交流会館(仮称)の建て替えについては、なからく諸部門で検討されてきましたが、学長任期期間中に会館竣工に

副学長に室井義雄経済学部教授



8月4日開催の理事会で、「専修大学長を補佐する副学長に関する取扱い内規」に基づき、日高学長から推薦された室井義雄経済学部教授が副学長として承認された。任期は9月1日(任期と同じ)。

現在、ユニバーサル教育の段階にあって、その教育方法の確立と学生の質の保証が求められています。学士課程教育の構築にあたっては、学部の教育目標や到達点などを明示し、かつ実行しなければなりません。学部教育において専門と教養をどう融合し、いわゆる専修大学スタンダードを提示するかも喫緊の課題です。この点については、「教育教育のあり方検討委員会」から答申が出されておりますが、専修大学スタンダードを構築するため、鋭意検討を進める所存であります。

今年4月から、人間科学部がスタートし、文学部が7学

から3年間(ただし、学長の任期と同じ)。

「知の発信」によって、社会のあるべき姿を提示していかねばなりません。大学の学は、研究力の集積に基ついた

専大カップ2010 54チームが出場

仲間との強い絆が奇跡を生む

専修大学カップ X SENSHU UNIVERSITY CUP X

(詳細は10面に)